

会長挨拶

春の足音が少しずつ聞こえ始める時期となってきました。靖国神社のソメイヨシノが観測史上最も早い開花宣言となる中、会員の先生方におかれましては、御健勝にての御活躍のことと拝察いたします。

新型コロナウイルス感染症はパンデミック4年目に入り、変化が見始めておりますが、3月13日以降のマスクの使用の有無についての個人判断、5月8日以降の感染症法上の5類への移行に伴う規制、規則の変更など振り回されてしまう不安要素が山積している状況でもあります。そのような中にはありますが、令和5年度は3年ぶりの役員会の開催を考えております。そして、3年ぶりの埼玉帝京医会総会の開催について検討することとしております。何とか会員の先生方のお元気な御顔がそろい、語りあって、親睦を深めていただけるような時間を作れるように準備できればと思っております。

コロナ禍の生活スタイルは変化を見せ始めておりますが、我々医療従事者の生活スタイルは大きく変わることはありません。先生方におかれましては、御自愛いただきましての御活躍をお祈り申し上げますとともに、今後ともご協力の程、宜しく御願ひ申し上げます。

医療法人刀水会齋藤記念病院 理事長 齋藤 卓

ブロック長挨拶

<北ブロック> 正田眼科 院長 正田 政一郎

埼玉帝京医会の先生方、北ブロックの正田と申します。新型コロナウイルス感染症の流行が3年経ち、まさかこれ程長引くとは当初思いもよりませんでした。この間、社会に与えた影響は計り知れないものがありますが、最も大きなものは顔の見える交流が出来なくなったことではないでしょうか。社会はもとより医療は連携が何より大切であり、ダメージは大きいと思っています。執筆時現在、流行は小康状態ではあるもののウイルスの特徴から考えますとまだまだ予断を許さないと考えます。そのような中、5月8日に2類から5類への引き下げが行われます。社会は活性化されると思いますが医療は未だ先が見えず、政府からの財政を始めとする支援は今後とも必要となるでしょう。何はともあれ少しでも早く皆様と顔の見える会が開けることを願っています。

明るい話では、昨年、元大宮医師会会長の松本吉郎先生が日本医師会会長にご就任されました。本当に驚きであり県医師会としてもとても素晴らしい事です。今日の日医の問題点は、宣伝や広報活動が下手で、国民の信頼と医師から見ての魅力が無いことであると私は常々思っていました。先生の話聞いてその点に最も力を入れておられ、また人柄も素晴らしくとても期待しています。日本の医師全員が医師会活動に参加し、国民の健康を守ることが第一です。皆で松本先生を支えなければと思っています。以上話が長くなりましたが今後とも宜しくお願ひ致します。

令和4年度 会計報告

※令和4年4月1日～令和5年3月31日 (単位:円)

収入	年会費収入	68名	340,000
	郵便局利子		12
支出	書類送付代		15,036
	消耗品費		2,090
	ホームページ維持経費		137,940

収入支出合計 (収入)340,012 (支出)155,066

収入支出差引残額 184,946

令和3年度繰越金 1,293,334

収入支出差引金額 184,946

令和5年度繰越金 1,478,280

第25回 総会について

毎年7月に行われます「埼玉帝京医会総会」につきましては、

令和5年7月8日(土) 19:00～

パレスホテル大宮3階「桔梗の間」を予定しております。

ブロック長挨拶

<西ブロック> 坂戸中央クリニック 院長 関根勝

埼玉帝京医会の先生方、こんにちは。西ブロック長の関根です。COVID-19に振り回されて早3年、ようやく自粛や行動制限が解かれる状況になり、人々の生活にも徐々に活気が戻って参りました。

この5月8日からは、いよいよ5類感染症への移行に伴い、我々医療機関も対応を検討している日々を追われています。全国的には再び感染者が増加傾向にあり、油断ができない状況ですが、さらに大型連休を前にして多くの人の集中、移動が予想され、感染症が広がる条件が揃いつつあり、ここで今一度兜の緒を締めて、基本に忠実にありたいものです。今年の3月に某大学の入学式に参加する機会がありましたが、久々に大きな体育館で父兄も参加する大規模な式が執り行われました。帝京関係では極親しい人や数人での集まりはありましたが、つい最近、帝京の10期生の会に参加させて頂き、大いに盛り上がりました。本年度こそは、しばらく中断を余儀なくされていた埼玉帝京医会が是非とも無事に開催される事を切に希望致します。

<南ブロック> 与野中央病院 理事長・院長 関場秀高

令和4年度の活動報告及び令和5年度に向けての豊富

埼玉帝京医会の皆様、南ブロックの関場秀高です。私は平成7年に帝京大学精神神経科学教室に入局し、同教室での研修終了後、他院精神科病院勤務を経て、平成10年に医療法人社団恵仁会与野中央病院に勤務し、現在同法人理事長・病院長です。通常においては、さいたま市で地域精神科医療の臨床を行い、統合失調症や双極性障害等の感情病圏の一般精神科臨床を行いつつ、嗜癮領域については、アルコール嗜癮の臨床を行っております。統合失調症や鬱病や躁鬱病を中心とした感情病圏の疾患や不安等の症状を中心とした神経症圏の疾患の臨床を行いながら、アルコールという薬物の摂取のコントロール障害が本質であるアルコール依存症の臨床を行っております。しかしながらアルコール依存症の断酒導入にあたり集団を利用しての加療の面が重要なのですが、コロナ禍により集団を利用しての加療が行う事が困難となった状態が続いておりました。今回今年5月からコロナウイルス感染症の感染症法上の扱いが2類相当から5類相当になると思われますので、感染症のリスクは依然として認め警戒しながらではありますが、少しずつ通常精神科臨床に戻っていかれたらと思っております。今後も精神疾患の精神科臨床に携わらせて頂きながら、引き続き地域精神科医療を行いたいと思っております。

<東ブロック> 岩槻南病院 理事長 丸山泰幸

東ブロックの丸山泰幸と申します。新型コロナウイルスによるコロナ禍も丸3年経過し、その中で感染の流行も第8波まで迎えております。このコロナ禍による対応もそれぞれの医療機関で大変ご苦勞されたものと考えております。本年5月8日には五類感染症に移行することにより、今後我々民間医療機関がどのように対応するかが焦点となっております。今後の政府の方針にさらに注視すべきところがあるかと思っております。その中で我々埼玉帝京医会の会員の先生方との意見交換等の場がこの3年間無くなっていることに関して非常に残念でなりません。一日も早くコロナ禍が終息し、先生方とお会いし、かつてのように親交を深める機会が来ることを切に願っております。先生方におかれましてもお体を大切に、地域医療発展のためにお互い頑張っていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

事務局より

会員の先生方に支えられ、当会は発足から25年を迎えることができました。心より御礼申し上げます。事務局では、先生方のご意見をお待ちしております。なお、連絡先に変更が生じた場合や、入会をご希望の先生をご紹介頂きます場合は、事務局までご連絡下さい。ご協力の程、よろしくお願いいたします。

問合せ先 〒335-0002 埼玉県蕨市塚越7-31-10
埼玉帝京医会事務局 和幸商事株式会社（齋藤記念病院グループ）
TEL・FAX/048-299-7087